

令和三年七月四日 神寿の集い

神 示

—— 二人の出会いに<sup>感謝</sup>思いを重ね 先<sup>未来</sup>の人生に夢を持つ ——  
迎えた<sup>こんねん</sup>今年 「神寿の心」と申す

家庭は 夫婦二人の「運命」を 重ね 補うことで

「心の道」を太くつなぐ<sup>環境</sup>所

二人の实体も ますます重なり 縁者の出会いが深まる  
家族一人一人の人生も 大きく守られ

事故 災難を遠ざける

皆<sup>信者</sup>に問う

夫婦二人で 「教え」を学び 家庭に生かす努力はいかに

「教え」が 夫婦二人の心<sup>運命実体</sup>を一つに重ね 迷う思いを消す

夫婦の心の重なりが 家族の人生を 「正道」へ導く

「心の道」に良き因を残す

「和のある家庭」の姿<sup>真実</sup>が ここにある

夫婦二人の心の重なりが

時代の<sup>変化</sup>流れに乗って 「生きる」<sup>強さ</sup>力を生む

神寿の集いで 「夫婦の<sup>めおと</sup>印」<sup>いん</sup> 夫婦の証しを再認識し

<sup>感謝</sup> 思いを交わす二人であれ